

(様式1-4)

広野町 復興交付金事業計画 平成24年度 復興交付金事業等

省庁名: 国土交通省

令和3年3月時点

※本様式は同一の交付担当大臣が交付する事業等ごとに作成して下さい

(単位:千円)

No.	事業番号 (注1)	事業名 (注2)	地区名 施設名	交付 団体	事業 実施 主体	直接/間接	基本 国費率 (a) (注3)	当該年度(注4)			年度間調整額(注5) (該当する場合のみ記載)		備考
								交付対象事業費 (b)	交付対象事業費のうち、特 定市町村又は特定都道府 県以外の者が負担する額を 減じた額 (c)	うち交付金交付額 基幹事業の場合 (d)=a×b+(c-a×b)/2 効果促進事業等の場合 (d)=0.8c	年度間 調整額 (国費) (e)	調整後の 交付金 交付額 (f)=d-e	
4	D - 1 - 1	道路事業(市街地相互の接続道路等)	広野小高線 (現道)	町	町	直接	5/9	(183,000) 0 <183,000>	(183,000) 0 <183,000>	(141,825) 0 <141,825>			
5	D - 1 - 2	道路事業(市街地相互の接続道路等)	久保田1号線	町	町	直接	5/9	(129,000) 0 <129,000>	(129,000) 0 <129,000>	(99,975) 0 <99,975>			【他事業へ流用①】(平成29年3月23日) 流用先: D-1-2 道路事業(久保田1号線) 流用額: [H24]58,301千円(国費45,183千円) 流用後交付対象事業費: 811,699千円(国費629,067千円)
6	D - 1 - 3	道路事業(市街地相互の接続道路等)	浜田線	町	町	直接	5/9	(31,000) 0 <31,000>	(31,000) 0 <31,000>	(24,025) 0 <24,025>			
7	D - 1 - 4	道路事業(市街地相互の接続道路等)	JR常磐線広 野駅 自由通路	町	町	直接	5/9	(12,000) 0 <12,000>	(12,000) 0 <12,000>	(9,300) 0 <9,300>			
8	D - 1 - 5	道路事業(市街地相互の接続道路等)	下浅見川線	町	町	直接	5/9	(16,000) 0 <16,000>	(16,000) 0 <16,000>	(12,400) 0 <12,400>			
9	D - 1 - 6	道路事業(市街地相互の接続道路等)	広長久保田線	町	町	直接	1/2	(164,000) 0 <164,000>	(164,000) 0 <164,000>	(123,000) 0 <123,000>			【他事業へ流用】(令和3年1月12日) 流用先: D-5-1 災害公営住宅家賃低廉化事業 流用額: [H24]15,807千円(国費11,855千円) 流用後交付対象事業費: 411,983千円(国費308,987千円)
10	D - 1 - 7	道路事業(市街地相互の接続道路等)	(仮) 2号線	町	町	直接	1/2	(72,000) 0 <72,000>	(72,000) 0 <72,000>	(54,000) 0 <54,000>			【他事業へ流用①】(平成30年1月17日) 流用先: D-5-1 災害公営住宅家賃低廉化事業 流用額: [H24]62,487千円(国費46,865千円) 【他事業へ流用②】(平成30年1月17日) 流用先: D-6-1 東日本大震災特別家賃低廉化事業 流用額: [H24]3,927千円(国費2,945千円) 流用後交付対象事業費: 193,694千円(国費145,270千円)
11	D - 1 - 8	道路事業(市街地相互の接続道路等)	(仮) 3号線	町	町	直接	1/2	(47,000) 0 <47,000>	(47,000) 0 <47,000>	(35,250) 0 <35,250>			【他事業へ流用】(平成27年5月21日) 流用先: D-1-9 道路事業(仮4号線) 流用額: [H24]20,155千円(国費15,117千円)【測量設計費】 流用後交付対象事業費: 26,845千円(国費20,133千円)
12	D - 1 - 9	道路事業(市街地相互の接続道路等)	(仮) 4号線	町	町	直接	1/2	(30,000) 0 <30,000>	(30,000) 0 <30,000>	(22,500) 0 <22,500>			
13	D - 4 - 1	災害公営住宅整備事業等(災害公営住宅の整備、災害公営住宅に係る用地取得造成等)	下浅見川字桜 田地区	町	町	直接	3/4	(515,000) 0 <515,000>	(515,000) 0 <515,000>	(450,625) 0 <450,625>			【事業内容の確定に伴う道路の効果促進事業への切り出し】(平成28年3月31日) 流用先: ◆D-4-1-2 災害公営住宅整備事業(道路整備) 流用額: [H24]32,703千円(国費: 28,615千円) 流用後交付対象事業費: 1,194,329千円(国費1,045,038千円) 【他事業へ流用】(令和2年1月10日) 流用先: D-5-1 災害公営住宅家賃低廉化事業 流用額: [H24]3,069千円(国費: 2,684千円) 流用後交付対象事業費: 1,191,260千円(国費: 1,042,354千円)

14	◆ D - 1 - 1 - 1	都市公園事業	下浅見川字本町地区	町	町	直接	4/5	(26,000) 0	(26,000) 0	(20,800) 0			
								<26,000>	<26,000>	<20,800>			
15	D - 1 - 10	道路事業(市街地相互の接続道路等)	広野小高線(北迫工区)	県	県	直接	3/5	(50,000) 0	(50,000) 0	(40,000) 0			[他事業へ流用](平成30年10月10日) 流用先:(相馬市)D-1-29道路事業(相馬互理線) 流用額:[H24]102,688千円(国費:82,190千円)【工事費】 流用後交付対象事業費:2,177,499千円(国費:1,742,000千円)
								<50,000>	<50,000>	<40,000>			
16	★ F - 2 - 1 - 1	市街地復興効果促進事業	広野町	町	町	直接	4/5	(3,000) 0	(3,000) 0	(2,400) 0			
								<3,000>	<3,000>	<2,400>			
18	D - 14 - 1	造成宅地滑動崩落緊急対策事業	下北迫字苗代替地区	町	町	直接	2/3	(96,000) 0	(96,000) 0	(80,000) 0			
								<96,000>	<96,000>	<80,000>			
19	D - 22 - 1	都市公園事業(浅見川地区防災緑地)※施設費	浅見川地区	県	県	直接	1/2	(240,000) 0	(240,000) 0	(180,000) 0			
								<240,000>	<240,000>	<180,000>			
20	D - 22 - 2	都市公園事業(浅見川地区防災緑地)※用地費	浅見川地区	県	県	直接	1/3	(60,000) 0	(60,000) 0	(40,000) 0			
								<60,000>	<60,000>	<40,000>			
						合計額		(1,674,000) 0	(1,674,000) 0	(1,336,100) 0	(0) 0	(0) 0	
								<1,674,000>	<1,674,000>	<1,336,100>	<0>	<0>	

都道府県名	福島県	担当部局名	復興企画課	担当者氏名	小松 和真
市町村名	広野町	電話番号	0240-27-1251	メールアドレス	kazuma.k01@town.hirono.lg.jp

(注1)「事業番号」は、基幹事業については、「(制度要綱別表の番号)-(同一事業計画中の同種の事業の通し番号)」、効果促進事業等については、「◆(最も関連する基幹事業の事業番号)-(最も関連する基幹事業ごとの通し番号)」となるよう記載する。

(注2)「事業名」は実施する事業の内容がわかるように任意の名称を記載する。

(注3)「基本国費率」は、各交付担当大臣が定める交付要綱に規定される国費率を指す。(制度要綱第2の1の(3)におけるbと同様)

(注4)基金を造成して復興交付金事業等を実施する場合、(b)欄には、当該年度に実施する事業の事業費を、(c)欄には事業費のうち特定市町村又は特定都道府県以外の者が負担する額を減じた額を、(d)欄には基金からの取崩額を記載する。

(注5)「年度間調整額」の(国費)(e)は、前年度に制度要綱第1の7の④に該当した場合に記載する。

(注6)上段()書きは、前回までに配分された額を記載し、中段には今回申請する額を記載する。なお、下段< >書きについては、自動計算される。

(様式1-4)

広野町 復興交付金事業計画 平成29年度 復興交付金事業等

省庁名: 国土交通省

令和3年3月時点

※本様式は同一の交付担当大臣が交付する事業等ごとに作成して下さい

(単位:千円)

No.	事業番号 (注1)	事業名 (注2)	地区名 施設名	交付 団体	事業 実施 主体	直接/間接	基本 国費率 (a) (注3)	当該年度(注4)			年度間調整額(注5) (該当する場合のみ記載)		備考
								交付対象事業費 (b)	交付対象事業費のうち、特 定市町村又は特定都道府 県以外の者が負担する額を 減じた額 (c)	うち交付金交付額 基幹事業の場合 (d)=a×b+(c-a×b)/2 効果促進事業等の場合 (d)=0.8c	年度間 調整額 (国費) (e)	調整後の 交付金 交付額 (f)=d-e	
26	D - 5 - 1	災害公営住宅家賃低廉化事業	下浅見川字桜 田地区	町	町	直接	3/4	(36,489)	(36,489)	(31,927)			【他事業から流用】(平成30年1月17日) 流用元: D-1-7 道路事業(仮)2号線 流用額: [H30]53,561千円(国費46,865千円) 流用後交付対象事業費: 217,573千円(国費190,373千円)【他事業より流用】(平成31年1月11日) 流用元: ★F-2-1-1市街地復興効果促進事業 流用額: [H31]8,463千円(国費: 7,405千円) 流用後交付対象事業費: 226,036千円(国費: 197,778千円) 【他事業より流用】(令和2年1月10日) 流用元①: D-4-1災害公営住宅整備事業等(災害公営住宅の整備、災害公営住宅に係る用地取得造成等) 流用額①: [R2]3,067千円(国費: 2,684千円) 流用元②: D-4-2災害公営住宅整備事業等(災害公営住宅の整備、災害公営住宅に係る用地取得造成等) 流用額②: [R2]214千円(国費: 187千円) 流用元③: ★F-2-1-1市街地復興効果促進事業 流用額③: [R2]13,662千円(国費: 11,953千円) 流用後交付対象事業費: 242,979千円(国費: 212,602千円) 【他事業より流用】(令和3年1月12日) 流用元: D-1-6道路事業(市街地相互の接続道路等) 流用額: [R2]13,546千円(国費: 11,855千円) 流用後交付対象事業費: 256,525千円(国費: 224,457千円)
							合計額	(36,489) 0 <36,489>	(36,489) 0 <36,489>	(31,927) 0 <31,927>	(0) 0 <0>	(0) 0 <0>	

都道府県名	福島県	担当部局名	復興企画課	担当者氏名	佐藤 和也
市町村名	広野町	電話番号	0240-27-1251	メールアドレス	kazuya.s01@town.hirono.fukushima.jp

(注1)「事業番号」は、基幹事業については、「(制度要綱別表の番号)-(同一事業計画中の同種の事業の通し番号)」、効果促進事業等については、「◆(最も関連する基幹事業の事業番号)-(最も関連する基幹事業ごとの通し番号)」となるよう記載する。

(注2)「事業名」は実施する事業の内容がわかるように任意の名称を記載する。

(注3)「基本国費率」は、各交付担当大臣が定める交付要綱に規定される国費率を指す。(制度要綱第2の1の(3)におけるbと同様)

(注4)基金を造成して復興交付金事業等を実施する場合、(b)欄には、当該年度に実施する事業の事業費を、(c)欄には事業費のうち特定市町村又は特定都道府県以外の者が負担する額を減じた額を、(d)欄には基金からの取崩額を記載する。

(注5)「年度間調整額」の(国費)(e)は、前年度に制度要綱第1の7の④に該当した場合に記載する。

(注6)上段()書きは、前回までに配分された額を記載し、中段には今回申請する額を記載する。なお、下段< >書きについては、自動計算される。